



浄土真宗本願寺派 小倉組

サンガ小倉

SANGA KOKURA SUMMER ISSUE

2025 JUNE

6月

夏号

令和7年 6月発行

副組長挨拶

【小倉組 副組長】

安楽寺／副住職 仁保 依正



昨年度4月より小倉組副組長で会計を拝命いたしました、安楽寺副住職 仁保依正と申します。小倉組の集まり等でお会いすることも多々あると思います。どうぞよろしくお願い致します。コロナ禍も明け、これまで自粛されてきた様々な活動ができるようになってまいりました。残念なことに、コロナ禍の数年间で、途絶えてしまったこと、縁がうすくなってしまうこと等あるかと思えます。小倉組を取り巻く状況は、より一層厳しい

ものとなっているであろう中、様々な活動を企画していかねばなりません。しかし、逆に、これまでの活動を改めて入念に見直す良い機会であると前向きに捉え、しっかりと勤めを果たして参りたいと思います。2009年に亡くなられた、滋賀県立大学の初代学長を務められた、動物行動学者の日高敏隆という学者がおられました。その方が最後に書かれた遺書にあたる著書の中で、「人間と人間以外のあらゆる生物の違いは何か」という問いをたてています。その答えを、このように著しています。他の動物は自分の死を考えることはない、自分の死とすることが分かっているのは人間だけであると。例えば、犬や猫は、最後病気になるって体調が悪くなってくると、どうも目に見えない外敵に襲われて苦しめられていると捉えるようです。自分が死ぬとは動物は考えない。そして、「自分の死を考えない」と

いうことは、実は未来を考えないことである」と、この日高先生は述べられています。厳しい言い方をすれば、自分自身の死を考えないということは、人間としての自覚が欠落しているのではないか、そういう疑問を突きつけられているようにも感じられます。

コロナ禍も終わり、小倉組の活動が活発になるに連れて、お聴聞の機会、親鸞聖人のお念仏のみ教えをお聞かせいただく機会が増えてくることでしょう。それは、この私を決して放ってはおけないという阿弥陀如来様の救いのお話をお聞かせいただくこと、この私がお浄土へと生まれ、仏と成らせていただくという話をお聞かせいただくということです。それは、この私人間らしく、しっかりと前を向いて生きていくという話をお聞かせいただくということでもあるのです。

合掌



2024(令和6)年度 小倉組三寺参り達成者名簿

お名前	所属寺	お名前	所属寺	お名前	所属寺	お名前	所属寺
梶川 國利 様	西宗寺	峠田 美佐子 様	西宗寺	長野 喜代子 様	西宗寺	藤上 幸恵 様	浄教寺
梶川 久美代 様	西宗寺	杉原 晴美 様	正行寺	木部 キクエ 様	傳因寺	藤上 和裕 くん	浄教寺
峠田 歳之 様	西宗寺	上田 初音 様	浄念寺	川上 徳子 様	善行寺		



法座のご案内

2025年(令和7年)

7月・8月・9月・10月の法要予定

7月

「仏教讃歌を歌う集い」	北豊教区	5日(昼)	昼14時	リバーウォーク芸術劇場 小ホール
盆法要	明恩寺	12日(昼)・13日(昼)	昼13時半	福田 了潤
盆法要	正行寺	12日(昼夜)・13日(昼夜)・14日(昼)	昼13時半/夜19時半	葛野 洋明
盆法要	萬徳寺	17日(昼)・18日(昼)	昼13時半	矢鳴 哲雄
盆法要	教泉寺	27日(昼)	昼13時半	生土 昌行
盆法要	善龍寺	27日(昼)	昼13時半	岡部 陽照

8月

盆法要	浄教寺	11日	16時	藤上 良裕【住職】
盆法要	本通寺	11日(朝)・13日(朝昼夜)・14日(朝夜)・15日(朝昼夜)	朝9時半/昼13時半/夜19時半	禿河 浩肇【住職】
盆法要	安楽寺	13日(夜)・14日(夜)	夜19時	住職・副住職
盆法要	西宗寺	13日(昼)・14日(昼)・15日(昼夜)	昼15時/夜19時半	毛利 俊英【住職】等
盆法要	慈光寺	15日(昼)	昼13時半	柳原 浩文【住職】
盆法要	永明寺	15日(昼)	昼15時	松崎 智海【住職】
盆法要	永楽寺	15日(夜)	夜19時	坂本 了一【住職】

9月

秋季彼岸法要	安楽寺	5日(昼)・6日(昼)	昼13時半	舟川 宏顕
秋季彼岸法要	正行寺	5日(昼夜)・6日(昼夜)・7日(昼)	昼13時半/夜19時半	紫藤 常昭
秋季彼岸法要	觀應寺	7日(昼)・8日(昼)	昼13時半	内藤 昭文
秋季彼岸法要	萬徳寺	8日(昼)・9日(朝昼)・10日(朝昼)	朝9時半/昼13時半	加来 諭
永代経法要	永照寺	16日(朝昼)・17日(朝昼)・18日(朝)	朝10時/昼13時半	三浦 真証
秋季彼岸法要	正善寺	19日(昼)・20日(昼)	昼13時半	海野 唯可
秋季彼岸法要	永明寺	20日(朝昼)	朝10時/昼13時半	宗 秀融
秋季彼岸法要	永楽寺	21日(昼)	昼13時半	瓜生 真
秋季彼岸法要	西宗寺	21日(昼夜)・22日(昼夜)・23日(昼)	昼13時半/夜19時半	濱畑 慧徳
秋季彼岸法要	明恩寺	22日(昼)・23日(昼)	昼13時半	佐藤 一樹
秋季彼岸法要	浄念寺	23日(朝昼夜)	朝10時/昼13時/夜19時	村上 順滋【住職】
秋季彼岸法要	西教寺	23日(昼)	昼13時半	坂本 了一
秋季彼岸法要	教泉寺	23日(昼)	昼13時半	池尻 正道【住職】
秋季彼岸法要	本通寺	23日(昼)	昼13時半	禿河 浩肇【住職】
秋季彼岸法要	慈光寺	23日(昼)	昼13時半	住職・若院
秋季彼岸法要	西願寺	24日(昼)	昼13時半	吉崎 哲真
秋季彼岸法要	極楽寺	27日(昼)	昼13時	福光 得真【住職】
秋季彼岸法要 仏壮聴聞の会	善龍寺	28日(昼)	昼13時半	毛利 暁英

10月

永代経法要	善行寺	22日(昼夜)・23日(昼)	昼13時半/夜19時半	福田 康正
永代経法要	鎮西別院	10月3日(日中・速夜) 4日(晨朝・日中・速夜) 5日(晨朝・日中・速夜)	晨朝 午前7時 日中 午前10時 速夜 午後13時半	福永 充証

皆様からのご意見・ご感想をお寄せ下さい。

連絡先

広報伝道部
本通寺

〒802-0051 北九州市小倉北区黒原2丁目40-8
Tel.093-922-8460 Fax.093-922-5887

文明十年（一四七八年）に蓮巖が高浜（現在の船場町一番）に創立したのがはじまりです。

慶長七年（一六〇二年）に小倉城築城に際して、今の場所に移りました。その後、三度の火災で焼失しております。

岩松八郎左衛門武秀（蓮巖）は一旗上げようと諸国を遍歴していましたが、常陸国（茨城県）で蓮如上人の説法に出会い、
発心して弟子になり蓮巖という法名を受け、その後、蓮巖は豊前に帰り庵で修行をしておりました。その時、夢の中で仏から
「我は中国瀬戸崎安寿寺の本尊で、日本六軀中の一つである。汝は宿縁があり、速やかに我が迎えに応ぜよ。云々」と
と告げられました。そこで瀬戸崎に行き、本尊を迎えて本山に訴えたところ、蓮如上人から「西頭寺」の号を授けられたとのことです。

【参考文献】 ●『足立山麓の史跡を探索』著者／足立山麓文化村 ●『城下町小倉の歴史』編集／長崎街道小倉城下町の会「城下町小倉」編集委員会



本年度の『小倉 親鸞のつどい』は
10/25(土)に西頭寺さんで開催。

『親鸞の集い』のはじまり

- 開催期間 …… 昭和37年4月に初回開催（小倉組々長：西頭寺住職）～
- 開催理念 …… み教えに出あう場をお寺だけでなく街中の会場でも。
ご門徒だけでなく、仕事帰り、遊びの途中、そういう方々にも気軽に
立ち寄って頂きたい、一人でも多くの方に仏縁を！という願いにより開催。
- 開催場所 …… 小倉北区魚町・松田楽器店2F。月に1回開催された。
- 開催内容 …… 本山教学研究所から講師が出講。机椅子を搬入しての講演会。
小倉YBA混声合唱団（仏青中心）が仏教讃歌を披露。
ご講師の講話と門信徒の体験発表「聖人に導かれて」。
途中中止した時期があったが、主に年度末に広い会場にて「親鸞の集い」と題して講演会を開催する。

『合同研修』について

- 開催期間 …… 2004年（小倉組々長：永明寺住職）～2012年まで。
- 開催理念 …… 小倉組の教化団体全体で、横のつながりを持って一緒に研修をする
組織教化団体の合同研修会として開催主体を組織教化団体とした。
- 開催場所 …… 男女共同参画センター「ムーブ」、永照寺本堂を講演会場とした。
- 開催内容 …… 年度末一回の講演会。小倉YBA合唱団による音楽法要仏教讃歌を披露。
途中、合唱団の解散に伴い、お勤めは小倉組法中による。
また雅楽の奏楽（法中、若婦人会龍笛）も始める。

『小倉親鸞のつどい』

- 開催期間 …… 2013年3月（小倉組々長：安楽寺住職）～現在に至る。
- 開催理念 …… 合同研修の経験を活かし、寺院本堂内に留まらず
対外的に多くの人々を対象にした布教の実現と、
気軽に参加できる研修の場の提供を開催の願いとした。
- 開催場所 …… 男女共同参画センター「ムーブ」、北九州芸術劇場等を講演会場とした。
- 開催内容 …… 年度末の1回。小倉組雅楽クラブの結成に伴い、お勤めに加えて奏楽、
雅楽披露をする。

この度、西頭寺は改修工事を行い、2024年8月より
新しくなった本堂でお参りをさせていただいております。
小倉組の各寺院の皆様にご参加とご協力をいただいて、
親鸞の集いを弊山にて開催できることを大変光栄に思います。
ご参加お待ちしております。よろしくお願いします。



西頭寺若院 岩松蓮淳さん

小倉親鸞のつどい

日時 2025年10月25日(土)
13:30～16:00頃（開場13:00）

会場 西頭寺（小倉北区京町4丁目4-42）

御講師 やなせなな さん

テーマ 『仏さまのぬくもりに触れるひととき』
～法話コンサート～

参加方法 所属寺に参加チケットをお申込みください。

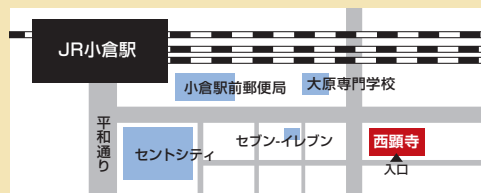
御講師プロフィール

やなせなな さん

奈良教区教恩寺住職／シンガーソングライター
1975年 奈良県高取町・教恩寺に生まれる。
1999年 龍谷大学文学部真宗学科卒業。
2004年 シングル『帰ろう。』でデビュー。



これまでに5枚のシングルと6枚のアルバムを発表し、CMソングやゲームのテーマソング、劇中歌などに起用される。
その一方で、YAMAHA『音遊人』エッセイ連載、本の出版、ラジオのDJ、映画の制作、講演会講師など、多彩な活動を展開。
30歳で子宮体ガンを克服した経験と、寺院に暮らす僧侶という視点を生かし、いのちの尊さを訴える歌を数多く制作。
慈しみに満ちた唯一無二の世界観、美しいメロディ、包容力のある歌声が持ち味で、年代・性別を超えた幅広い層から
確かな支持を獲得し、全国47都道府県・およそ600ヶ所以上での公演において成功を収めた実績を持つ。



※ 駐車場はございません。近隣のコインパーキングが公共交通機関をご利用ください。